

(注1) 大阪市立中央図書館 資料収集方針 抜粋

ヤングコーナー

ヤング向けの音楽、映画、演劇やスポーツに関する図書などを中心に、全分野にわたって分かりやすく表現された図書などを収集する。ヤングを児童から成人への成長過程ととらえ、ヤング対象の資料だけでなく児童図書から成人用図書まで、幅広い収集を考慮せうる。

ア 収集する資料

(ア) 一般図書

- a 各主題にわたり、ヤングの関心の高い分野の資料を積極的に収集する。
- b ヤングの関心を深め、新しい興味の分野を切り開き、知性と感性を豊かにする資料の収集に努める。

(イ) 児童図書・絵本

ヤングが楽しめる内容のものを収集する。外国絵本も含む。

(ウ) 漫画

ヤングが楽しめる内容のものを収集する。

(エ) 雑誌・新聞等

ヤングに関心の高いものを備えるとともに、ヤング対象のミニコミ誌の収集にも努める。

イ 収集上の留意点

全集は原則として収集しない。ただし、ヤングに的を絞ったものは収集する。

(注2) 河内長野市立図書館資料収集方針抜粋

平成14年7月6日

ヤングアダルト資料

児童から成人への過渡期にあたる、おもに13歳から18歳の青少年（ヤングアダルト）層に焦点を当て、この世代が日常生活・学校生活の中で持つ様々な興味・関心に応えられる資料の収集に努める。

収集上の留意点

- (1) ヤングアダルト層が興味を持つきっかけとなる入門的な資料から、より深く調べ学ぶことができる資料まで幅広く収集する。
- (2) ヤングアダルト層の関心が高い分野の資料を積極的に収集する。
- (3) ヤングアダルト層の精神的成長を支え促す資料を収集する。
- (4) ヤングアダルト層の精神的成長及び読書能力の個人差に留意し、ヤングアダルト向け資料だけでなく、幅広い観点から資料を収集する。
- (5) 時代の変化に敏感なヤングアダルト層が興味を持つような、新鮮な資料を収集する。

(注3)

質問 12 について

府立中央図書館が力を入れるべき支援については、資料に関するものが最も多く14館でした。内容は大きくは二つに分かれます。

① 府立で収集してほしい資料の内容について

人気のある文庫や新書、網羅的収集、音楽・演劇、映画関連資料を幅広く、読物以外のYA世代に沿ったソフトな資料、マイナーな資料など

② 資料保存について

デポジット図書館としての機能を果たしてほしいということに集約されるのですが、具体的にはスペースの問題でやむなく除籍した本を受け入れてほしいとか、各図書館で散逸状態にあるシリーズなども寄贈を呼びかけ全巻揃える努力をして市町村図書館に提供してほしいなどがあげられていました。

次に多かったのはYA向けおすすめリストを作成してほしい(8館)でした。ホームページへのアップやリストの配布を望む声もありました。

三番目に多かったのは広報や情報発信に関するもの(6館)でした。YA向けに図書館が魅力的な場所であることをアピールしてほしい、「べんりやん図書館(当館YA向けホームページ)」へは府下のYA向けイベントの掲載の希望やYA関係の情報を収集して情報発信してほしい、資料の紹介などでした。

他は選書の方法について教えてほしい(2館)、学校への支援(2館)、YA担当者会議の開催(1館)定期的に研修会の開催(1館)である。